

道徳学習指導案

1年4組 23名 指導者 小 峯 三 朗

本授業は、以下のような視点で授業を行うものである。

- 見つめる活動において、問題意識を十分に高めることができたか。
- 問い直す活動において、自分の見方や考え方、感じ方を根拠を示しながら発言したり、友達の見方や考え方、感じ方を聞いたりすることで、自分の見方や考え方、感じ方を広げ深めることができたか。

1 主 題 名 わがままをしないで（資料名「かぼちゃのつる」〈読み物－学研〉）

2 ね ら い

わがままな行動や自分勝手なふるまいをしない生活をしようとする態度を育てる。

（1－① 節度・節制，自立）

3 主題について

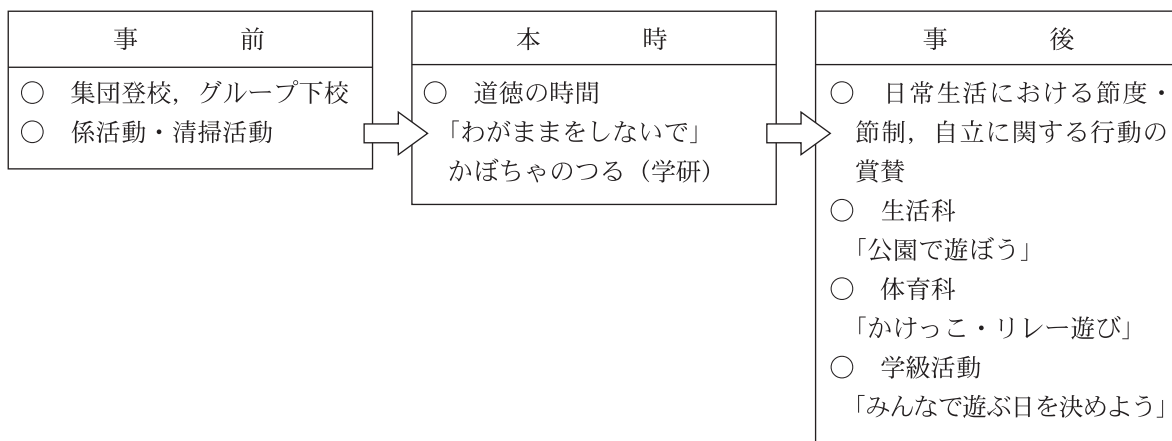
(1) 主題の価値

本主題は、低学年1－①「健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。」で、基本的な生活習慣を身に付け、節度のある生活ができる児童を育てようとする内容項目である。これは、中学年1－①「自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度ある生活をする。」、高学年の1－①「生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。」に発展するものである。本主題では、特に、進んで自分の生活を見直し、思慮深く考えながら自らを節制して生活をしようとする態度を育てることをねらいとしている。

一人ひとりがわがままを通そうとしたり、自分勝手な行動をしたりすると、他の人に迷惑をかけ、時には、自分や他人の健康や安全に支障をきたす場合もある。よりよい生き方を願うとき、人の注意を素直に聞き、節度ある生活をするとともに、わがままと抑えて、互いに思いやりのある生活をするのが、私たちが社会で暮らしていくために必要である。このような生活を営むことを目指す子どもたちにとって、自分自身の生活を振り返りながら、自ら考えて節度ある生活ができるように考えさせることは大切なことである。

第1学年の児童は、思い通りにしたいという自己中心的な気持ちや行動が多い。そこで、わがままをしないで生活することの大切さを実感させ、そのような生活が気持ちのよいことに気付かせることは大変意義のあるものとする。

(2) 他教育活動との関連



時	主な学習活動と教師の手立て・評価	
(分) ↑ 5 ↓	<p>【見つめる活動】</p> <p>1 日常生活の中で、わがままをしてしまった体験やその時の気持ちについて話し合う。</p> <p>・おもちゃを買ってくれるまで泣いて、おうちの人を困らせた。 ・友達と遊んでいるとき、自分がしたいことをして一人になった。</p> <p>わがまますたくなつたとき、どのようなきもちがたいせつだろう。</p>	<p>④ 「実態アンケート」</p> <p>「実態アンケート」を参考にして、自分の日常生活を見つめることができるようにする。そして、わがままな行動はよくないことだと分かってはいても、わがままや自分勝手なことをしてしまうことがあるという意識と行動の矛盾に気付かせ、問題意識を喚起することができるようにする。</p>
↑ 29 ↓	<p>【問い直す活動】</p> <p>2 資料「かぼちゃのつる」を読み、かぼちゃの気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1) 太陽の光を浴びてどんどんつるを伸ばしていくかぼちゃは、どんな気持ちになったか。</p> <p>・気持ちがいい。 ・どんどん伸ばそう。楽しいな。 ・どこまで伸びるかな。 ・隣の畑まで伸ばしてみよう。</p> <p>(2) はちやちよう、小犬に注意されても、それを聞かないかぼちゃは、どんな気持ちだったか。</p> <p>・うるさいな。 ・どうでもいいだろう。 ・ぼくの勝手だろう。 ・伸びるのが楽しいから、ほっといてくれ。</p> <p>(3)トラックにつるを切られて、かぼちゃはどんなことに気付いたのか。</p> <p>ア ごめんなさい。やめとけばよかった。 イ わがまますたら、みんなに迷惑がかかるし、自分もいいことがないなあ。 ウ これからは人の注意を、きちんと聞こう。</p>	<p>④ ワードカード、場面絵、朗読CD</p> <p>かぼちゃがわがまますしようと思っていたのではなく、ただ、つるを伸ばそうと思っていただけであることに気付かせ、はじめの明るく、はりきっているかぼちゃの気持ちを考えることができるようにする。</p> <p>注意されても、自分の思うままにしたいと思うかぼちゃの心の弱さに共感できるように役割演技を行う。注意をしている登場人物の役は、教師が行い、子どもたちがかぼちゃになりきって答えるようにする。</p> <p>※ 中心発問に対する考え方を役割演技において次の視点で評価する。</p> <p>ア 自分の気持ちを中心とした考え方 イ 他人への思いを中心とした考え方 ウ 今後の生活に活用しようとする考え方</p> <p>自分の感じ方、考え方の根拠を示しながら発言したり、友達の感じ方、考え方を聞いたりすることで、自分の感じ方、考え方を広げ深めることができるように助言する。</p>
↑ 8 ↓	<p>【振り返る活動】</p> <p>3 自分や友達が、わがまますしないのでできた体験を紹介し合う。</p> <p>・お母さんに文句を言いたかったけど、がまんしてやったら、お母さんにほめられたよ。 ・友達に「これしちゃだめだよ。」と言ったら、すぐやめてくれました。</p>	<p>自分で節制して行動できたことや、周りの人のことを考えて行動できたことを発表させる。発表を聞き合うことで、自分の中にある節度・節制の心について見つめ直すことができるようにする。</p>
↑ 3 ↓	<p>【あたためる活動】</p> <p>4 教師の話を聞く。</p> <p>・わがまますしないで、友達と仲良く生活できるようにしていきたい。 ・みんなのことを考えて、まわりの人のいうことを素直に聞こう。</p>	<p>毎日を気持ちよく過ごすには、わがまますしない生活であるということに気付かせることで、よりよい生き方をしようとする意欲をあたためることができるようにする。</p>